

黒田先生に特別顧問を要請

黒田先生には例会場のデッキやプロジェクターをご提供頂いて、毎月明るい映写で楽しい例会を開催していますが、映像フェスティバルの際にも、1万ルーメンという明るいプロジェクターをお借りするなど、何かとOMC(OVC共々)のためにご尽力を賜っております。本来ならば役員の一員としてご活躍頂きたいところではありますが、先生の立場上大変お忙しい方ですので、世話役会議などの出席はできないとのこと。そこで、せめて特別顧問という立場で役職を引受けて頂きたいと思い、申し入れたところ、このほど快く引受けて頂きました。有難うございました。本来ならば、世話役を招集して決めるべき事項とは思いますが事後承認ということでご承認願います。来年度の規約改正で明文化したいと思います。

井上会員が3D立体映像を披露

手造りのスタビライザーなど、いつも新鮮な驚きを提供されている井上会員が、今度はノートパソコンを例会場に持ち込んで、立体映像を披露、会員諸氏を驚かされました。観客は赤青の色メガネを通して観賞するのですが、花を写した映像は確かに立体的でした。その撮影の仕掛けも後で説明かしされましたが、すごい事を考えられるものだと感心いたしました。この立体映像、アマチュアのクラブでは初の快挙かも知れませんね。詳しくは例会のレポート記事をご覧ください。

■予告：12月例会は第4土曜27日

12月は年によっては第3土曜日に繰り上げるときがありましたが、他のクラブにかち合うため不評でした。今年は押し詰まって何かと気忙しい年末ですが、忘年会のつもりでどうか予定しておいて下さい。

9月例会のお知らせ

9月例会は第4土曜27日18時より、大阪市立難波市民学習センター(JR難波駅上OCATビル4階)にて開催。皆様のご来場をお待ちしています。作品の方もどうぞお持ち下さい。月1回の例会と二次会、楽しいひとときを過ごしましょう。

映像発表会に課題発生

藤原氏が映写担当を降りられる

このほど藤原氏から、これからの映像発表会の上映担当を降りたいと、突然の申し入れがありました。合原、有村、関の各役員による説得を試みましたが決意は固く、今後は以前のように、会場の拡声装置を使って、何とかやっていく外ないと結論づけられました。

■関、西井氏中心に運営を

解決すべき課題は数多くありました。音に関して知識と経験の深い西井氏に協力をお願いして、関氏と共に問題点、やるべき事項の整理をして頂きました。ミキサ、マイク、コード類を始め、場内音楽用のMC機器などの準備及び担当の決定がなされ、9月11日、中央会館でのテストも会場予約がなされました。

■黒田先生が業務用デッキを新規ご提供

例会でもハイビジョンが上映できるミニカセット専用のデッキを黒田先生よりご提供いただき使用していますが、この度発表会用にと上位機種標準カセットも使えるデッキを2台ご提供いただきました。まことに頭の下がる思いです。深く感謝いたします。

■発表会では1万ルーメンのプロジェクター使用は前回通りです

プロジェクターはアマチュア映像発表会では最高の明るさを誇るプロジェクターを今回も黒田先生よりお借りして上映いたします。この機器は30Kgと重いので車より下ろしたり乗せたりする手伝い役を江村世話役など上映担当世話役をお願いしました。

■機器の運搬や設営支援に上映担当世話役

例会では江村、増池、河合の3氏に上映を担当して頂いていますが、発表会の際も学習センターからの機器やコード類の運搬、会場での機器運搬、コード類の配線、床への固定など細かいお手伝いをして頂くことのご了解を得ました。ご3人方にはご苦勞をおかけします。

■作品テープの標準カセットへのダビング音の調整等は関世話役をお願いしました

この仕事は何日もかかる大変な手間のかかる仕事ですが、快く引受けて頂きました。よろしくお願いいたします。

■藤原さんには今までの上映担当に感謝いたします。有難うございました

私達が藤原さんに全面的に依存し過ぎて多大なご苦勞を強いていたことを反省すると共に、今まで立派なそして完璧な上映会を為し遂げて来られたことに感謝いたします。まことに有難うございました。なお映写会記録用のDVD製作に関しては従来通りやっていただくということなので、よろしくお願いいたします。

8月例会のレポート

8月の例会は23日の午後6時より何時もの例会場で開催しました。司会、安居さん、書記、有村さん、デッキ係に増池さん、江村さん、河合さん、受付兼照明係を奥さん、紙本さんの担当で進行しました。

◆出席者：有村、天草、石垣、井上、上田、江村、岡本、奥、上総、紙本、河合、黒田、合原、進藤、関、錦、西井、西村、華岡、前田、増池、森下、安居、山本、吉岡（敬称略）の25人と作品本数16本でした。

◆上映作品（今月の記録と講評担当：有村世話役です）

1) まつり

西井 学さん 4分30秒

去る5月の例会で上映された京都松尾大社の祭礼の作品での神輿の映像を使って北島三郎の歌う「まつり」の曲をBGMにして新しく作られました。歌詞の中には画面と合わない所がありますが、仕方のないことでしょう。せめて小節ごとにカットを代えてみたら少しはテンポが出て、より良くなるかも知れませんね。

2) 梅田茶屋町キャンドルナイト (W)

増池 茂さん 7分00秒

今年の6月12日に若者たちが大勢集まる町で行われた恒例のイベントを撮ってこられました。何でも12月に西梅田のビル街で行われる同じようなイベントと年に2回あるそうです。小さなガラスの器に入った蠟燭の炎が揺らめいて幻想的な雰囲気漂っています。現場をよく知った人にとっては楽しい作品だったと思います。

3) 桂林・洞窟紀行

合原一夫さん 9分50秒

中国、桂林をご夫婦で旅行された時の記録です。洞窟の中は何処もかしこもカラフルな照明で輝いています。やがてクーニャン達のコーラスに迎えられてトロッコ列車に乗車、小舟での曳航もありました。私も山口の秋吉台の秋芳洞に入った経験がありますが、それとは全く違った雰囲気には驚きました。自然を愛でると言うよりもビックリ箱探検のようですね。良い思い出になった、と結んでおられます。珍しい所を見せて頂きました。

4) 岸和田だんじり祭

上田吉巳さん 5分20秒

上田さんの友人が作られた歌に合わせて全国的にも有名なお祭を、地元の人ならではの撮影画面で作られました。カラオケ風に下段に歌詞が出ます。小節毎にカットが変ります。その総てが歌詞に忠実なカットが選ばれています。岸和田の専門家が見ても非の打ち所のない見事な出来映えの作品ではないでしょうか。楽しく拝見しました。

5) 平等院と宇治川散策

錦 務さん 6分20秒

三脚をガッチリ構えて落ち着いた撮影をされて見易い作品になっています。所がお話が散文的になって錦さんがこの作品で何をテーマにしたいのかが判りません。宇治川の散策から始まって宇治上神社、源氏物語モニュメントと繋いで最後に世界文化遺産の平等院で締めくくりますと「宇治散策」で纏まるのではないのでしょうか。一つの案として思いつくまま書きました。ご検討下さい。

6) だんじり競演 (W)

岡本至弘さん 10分00秒

東大阪市が主体の施設「夢広場」の事業部長をボランティアでされている岡本さんが今年の地元映写会の為に作られた作品です。近鉄布施駅前広場に集結した各町内自慢のだんじりが次々に紹介されます。関係者には堪らない映像が続きます。少々退屈した頃に中村美津子の歌う「河内だんじり」が流れてそれを救います。全体を通して東大阪で上映するには良く出来た作品だったと思います。ただ歌声のバックの現場音を

もう少し絞ってもらったらな、と感じました。

7) 和氣清麻呂神となる (W)

紙本 勝さん 12分10秒

誰でもその名前だけはよく知っている歴史上の有名な人物をこれ程詳細に描かれたのを初めて見ました。紙本さんは京都の護王神社に行かれて、そこの絵巻物を中心に弓削道鏡との葛藤などを交えて、その一生を語っておられます。あまり史料の残っていない奈良時代の人物を描くのは至難の技と思いますが、さすが歴史好きの作者のこと「好きこそ物の上手なれ」とはこの事を言うのでしょうか。よい勉強になりました。

8) 平野郷を歩く (W)

石垣禎章さん 10分07秒

先程の岡本さんと同じく東大阪市の「夢広場」主催の歩こう会で平野の町に行かれて作られました。平野の町興して名高い松村長二郎さんの解説で現地がつぎつぎに紹介されて行きます。この作品も東大阪の映写会で上映されるそうです。別のクラブで上映して色々なご意見を採り入れて作り直されたそうでよく出来た作品だったと思います。さぞ登場人物が映写会に沢山見に来てくれる事でしょう。

9) 花のワルツ (HDV) (3D)

井上勝彦さん 9分15秒

井上さんは何時も撮影される時には自作のスタビライザー(移動撮影用器具)の上に2台の小型ハイビジョンカメラを乗せておられます。立体(3D)映像の為だと言っておられました。そしてこの例会の中間休憩の後、やおら持参のデスクトップ・パソコンで何やら調整を始められ、皆に3D鑑賞用のメガネが配られました。そして私は生まれて初めてアマチュアが作った立体映像の画面を見ました。内容は前に平面で見た事のある各種花の、主にアップ主体の映像です。みごとに立体になっています。かなり前に1回同じくメガネ着用で見た時にはテープに既にMPEG圧縮記録したもので上映したので失敗した、との事で今回のパソコン持参の色相調整で成功されたそうです。それでもプロジェクター1台で巧くゆくかな、と心配されていた程でした。

最後に反射鏡の付いた撮影カメラが紹介されて終わりました。全く別次元の映像を見た様な気分になったのは私だけだったでしょうか。これからこの手法で色々な映像を見せて頂けると期待しております。有難うございました。

10) サンタマリア号に乗船して (HDV)

奥 宏さん 4分23秒

大阪港を周回する観光船に乗って撮影を重ねて作品をまとめられました。船内風景、船から見た周辺の景色、陸地からの船などを巧みに組み合わせる作ってられるので飽きません。最後に船上での大道芸が紹介されて終わります。楽しい作品でした。

11) 近つ飛鳥散策 (HDV)

有村 博さん 7分46秒

テレビの紀行物を見て、私は大阪府下にこんな所があると知って訪ねてみたのです。羽曳野市の一画と、聖徳太子信仰のメッカの一つ上の太子と、竹内街道を歩きました。地図やパンフで下調べして行っただけですが、判らない所ばかりで現地の人達に度々教えてもらったの散策でした。もっと内容の充実した作品を作るには絶対ロケハンが必要だと痛感しています。

12) おこしや祭 (HDV)

吉岡貞夫さん 12分35秒

今年の6月14日に行われた西宮神社のお祭を取材されました。吉岡さんはこの神社の専属カメラマンとして作品を氏子の皆さんにその都度見せるという、ボランティアをされているそうで、安心して見ておられます。全国の戎神社の総本家として戎さんが西宮の浜に来られた神話を元にしたお祭だそうです。丁寧なナレーションとともに判り易い作品に仕上がっていました。浴衣姿の女子大生も良かったですね。

13) 送り火 (改作) (HDV)

前田茂夫さん 9分57秒

毎年8月16日の夕方から夜にかけて行われる京都の大文字を、その火付け現場に行かれて取材された作品を前に拝見しましたが、今回はその際に撮影出来なかった大文字の全景などを撮り足されて作り直されたそうです。大勢の人達が願をかけた沢山の薪が山上に運び上げられ、やがて火が付けられます。現場はもの凄い熱気で大変だ

ったそうです。やがて大文字に続いて妙法、船形、左大文字等の遠景が出て終わります。素晴らしい作品でした。

14) YOSAKOI 春の宵 (HDV)

江村一郎さん 6分00秒

今年の春、本場高知での撮影だと思われまます。夜の踊りから始まって昼の踊りとが交互に混ざり合って編集されています。それが絶妙に表現されているのです。これには驚きました。音も現場音と踊りのCD音とが、これ又絶妙にミックスされて躍動感を強調しています。江村さんの天性の感覚なのでしょう。お見事でした。

15) キルギス縦断 (HDV)

山本正夢さん 9分00秒

今回の山本さんの一人旅は中国の西隣、旧ソ連領だったキルギス共和国の縦断です。透明度の高い湖や4千年前の岩絵など紹介されて首都ピシュケクに入ります。最近この空港で旅客機が墜落したニュースがありました。市場風景などが出て、ここからは乗合いタクシーに乗ってだろうと思われまますが、オシュ街道を標高3千メートルを越す峠を2つも越えてオシュ、オズゲンへと壮大な旅が表現されます。初めて見る人種、異風景に圧倒されます。素晴らしい作品でした。

16) 香住海岸遊覧 (HDV)

天草 稔さん 8分50秒

一昨年の6月に当クラブが行った「餘部鉄橋」撮影会で乗った遊覧船に天草さんも乗って作品を作られました。有名な三姉妹船長の解説で色々な風景が紹介され、以外に早く餘部鉄橋に到着します。今まで進行方向に向かって左側窓からの撮影が、右側窓からに変わり船となり、インデアンロックが右側に紹介されます。しばらくすると突然左側窓に変わり、やがて左側窓からのインデアンロックが映し出されて終わります。この船は帰ったり行ったりした様ですね。乗り物に乗って窓からの撮影を反対側に変える時は必ず間に車船内の乗客などのカットを入れる様に私は教わりました。この様な乗車、船遊覧の場合は出来るだけカットの入れ替えをせずに素直に撮影順に編集する方が無難ではないでしょうか。